

(5) プロジェクト研究 (11:00~11:30)

癌化「サーベイランス法の確立」 責任者：松本誉之

潰瘍性大腸炎のサーベイランスアトラス作成

松本誉之、○樋田信幸 (兵庫医大下部消化管)、  
工藤進英、大塚和朗 (昭和大横浜市北部病院消化器センター)、渡邊聡明 (帝京大外科)、  
名川弘一 (東京大腫瘍外科)、五十嵐正広 (癌研有明病院内視鏡部)、  
佐田美和 (北里大東病院消化器内科)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、  
千葉俊美 (岩手医大1内)、岩男 泰 (慶應義塾大包括先進医療センター)、  
渡辺憲治 (大阪市大消化器器官制御内科)、味岡洋一 (新潟大分子診断病理)

狙撃生検によるサーベイランスシステムの確立・癌化例の登録システムの構築

松本誉之、○樋田信幸 (兵庫医大下部消化管)、  
工藤進英、大塚和朗 (昭和大横浜市北部病院消化器センター)、渡邊聡明 (帝京大外科)、  
名川弘一 (東京大腫瘍外科)、五十嵐正広 (癌研有明病院内視鏡部)、  
佐田美和 (北里大東病院消化器内科)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、  
千葉俊美 (岩手医大1内)、岩男 泰 (慶應義塾大包括先進医療センター)、  
渡辺憲治 (大阪市大消化器器官制御内科)、味岡洋一 (新潟大分子診断病理)

(6) プロジェクト研究 (11:30~12:00)

癌化「基礎面から」 責任者：味岡洋一

潰瘍性大腸炎の癌化過程 (colitic cancer) における Smad のリン酸化を介するシグナル伝達

岡崎和一、○川股聖二、松崎恒一、内田一茂、松下光伸 (関西医大消化器肝臓内科)、  
日比紀文、松岡克善 (慶應義塾大学消化器内科)、岩男 泰 (同 包括先進医療センター)

<昼食・幹事会>

(7) プロジェクト研究 (13:00~14:30)

「外科的治療法の確立と工夫」 責任者：佐々木 巖・杉田 昭

<プロジェクト研究>

pouchitis 診断基準作成と治療指針にむけて

○福島浩平、佐々木 巖、舟山裕士、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、羽根田 祥、  
渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史、林 啓一 (東北大生体調節外科)

Crohn 病肛門病変肉眼所見アトラスアンケート報告一

○二見喜太郎、東 大二郎 (福岡大筑紫病院外科)

Crohn 病外科治療成績に関する多施設共同研究 (第2報)

○舟山裕士、佐々木 巖、福島浩平、柴田 近、高橋賢一、小川 仁、羽根田 祥、  
渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史、林 啓一 (東北大生体調節外科)

Crohn 病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討 - RCT の進行状況 -

○杉田 昭、小金井一隆 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)

潰瘍性大腸炎、Crohn 病に合併した小腸、大腸癌の特徴と予後アンケート集計結果一

○杉田 昭、小金井一隆 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)、  
佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

## <各個研究>

Crohn 病肛門病変先行例の検討

○二見喜太郎、東 大二郎 (福岡大筑紫病院外科)

炎症性腸疾患におけるストーマ関連合併症について

○高橋賢一、佐々木 巖、舟山裕士、福島浩平、柴田 近、小川 仁、羽根田 祥、渡辺和宏、工藤克昌、神山篤史、林 啓一 (東北大生体調節外科)

Crohn 病症例に造設した人工肛門の経過と問題点

○小金井一隆、杉田 昭 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)  
腸管膀胱瘻を合併したクローン病症例の検討

○藤井久男 (奈良医大中央内視鏡超音波部)、小山文一、向川智英、中川 正、内本和晃、大槻憲一、中村信治、中島祥介 (同 消化器総合外科)、吉川周作、稲次直樹 (同 大腸肛門病センター)

潰瘍性大腸炎緊急手術例の検討

○飯合恒夫、亀山仁史、野上 仁、小林康雄、島田能史、丸山 聡、谷 達夫、畠山勝義 (新潟大消化器・一般外科)

IACA 術後 pouch 関連合併症に対する endorectal pouch advancement (続報)

○中島清一、甲斐康之、西田俊朗 (大阪大外科)、伊藤壽記 (同 生体機能補完医学) 根津理一郎、長谷川順一、安政啓吾 (大阪労災病院外科)、

手術症例から見た colitic cancer の現状と術式の選択

山村武平、○池内浩基、中埜廣樹、内野 基、野田雅史、柳 秀憲 (兵庫医大2外)、福田能啓 (同 臨床栄養部)、松本誉之 (同 下部消化管)

潰瘍性大腸炎患者の周術期における免疫学的問題点

楠 正人、三木誓雄、荒木俊光、○吉山繁幸、大北喜基、大竹耕平 (三重大病態修復医学消化管・小児外科)

IBD 術後患者における骨粗鬆症の現状

亀岡信悟、○板橋道朗、番場嘉子、小川真平、廣澤知一郎 (東京女子医大2外)、飯塚文瑛、白鳥啓子 (同 消化器内科)

## <コーヒーブレイク>

(8) 再生分科会 (14:40~15:20)

粘膜再生治療「基礎面から」 責任者：土肥多恵子

Wnt 活性化腸上皮細胞の解析

佐藤俊朗、○伊達昌一、日比紀文 (慶應義塾大消化器内科)、

松崎有未、岡野栄之 (同 生理学)、工藤 明 (東京工業大生命理工学)

上皮細胞形態形成蛋白 epimorphin の腸上皮細胞に及ぼす新たな作用

○飯塚政弘、相良志穂、伊藤博彰、堀江泰夫、渡辺純夫 (秋田大1内)

炎症応答と消化管粘膜再生—IL-13 の役割

○土肥多恵子 (国立国際医療センター研究所)、中島 淳 (横浜市大分子消化器)、小島 至 (群馬大生体調節研究所)、片岡寛章 (宮崎大2病理)

腸管上皮分化/再生機構の解析と粘膜再生治療への応用

○岡本隆一、土屋輝一郎、新垣美都代、吉岡 篤、村山巖一、井上和成、金井隆典  
渡辺 守（東京医歯大消化器内科）

(9) 再生分科会（15:20～15:50）

粘膜再生治療「臨床面から」 責任者：今井浩三

実験腸炎における骨髄（骨髄間葉系幹細胞）の役割

○矢花 崇、田中道寛、田中浩紀、中原生哉、後藤 啓、有村佳昭、本谷 聡、篠村恭久、  
今井浩三（札幌医大1内）

(10) プロジェクト研究（15:50～16:30）

「エビデンスに基づく炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発と診療オプションの策定」

責任者：上野文昭

潰瘍性大腸炎の診療ガイドライン：インターネットを用いた情報提供

○高橋奈津子、吉田雅博、山口直人

（日本医療機能評価機構・医療技術評価総合研究医療情報サービスセンター）

診療ガイドラインの一般向けリライト作業の骨子と問題点

中山健夫（京大健康情報学）、○上野文昭（大船中央病院）、

井上 詠（慶應義塾大包括先進医療センター）、小林健二（東海大総合内科）

クローン病の診療ガイドライン：日本消化器病学会との共同開発に向けた準備状況

○上野文昭（大船中央病院）、松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器科）、

日比紀文（慶應義塾大消化器内科）

(11) プロジェクト研究（16:30～16:50）

「臨床活動性指標と内視鏡指標の標準化」 責任者：松井敏幸

新規プロジェクト：IBDの臨床評価とその指標

○松井敏幸、平井郁仁（福岡大筑紫病院消化器科）、藤井久男（奈良医大中央内視鏡部）、

田中信治（広島大光学医療診療部）、鈴木康夫（東邦大付属佐倉病院内科）、

押谷進英（大阪市大消化器器官制御学）、井上 詠（慶應義塾大包括先進医療センター）、

青柳邦彦（福岡大3内）、小林清典（北里大東病院消化器内科）

事務局連絡

懇親会

平成18年7月21日(金)

### Ⅲ. 研究報告(続)

#### (12) プロジェクト研究(9:00~9:20)

「疾患関連遺伝子の追究」 責任者: 木内喜孝

TNFSF/TNFRSF 遺伝子多型と日本人炎症性腸疾患との関連

○木内喜孝、野村栄樹、根来健一、高橋成一、高木 承、遠藤克哉、下瀬川 徹(東北大消化器病態学)、  
杉村一仁(新潟大3内)

#### (13) プロジェクト研究(9:20~9:40)

「腸内細菌の関与(病態、治療への応用)」 責任者: 藤山佳秀

#### (14) プロジェクト研究(9:40~11:10)

病態追究「病因解明に向けて」 責任者: 千葉 勉

潰瘍性大腸炎腸管局所における TGF- $\beta$  受容体の検討

○島谷孝司、石黒 陽、平賀寛人、櫻庭裕丈、山口佐都子、藤田 均、川口章吾、  
佐藤裕紀、山形和史、棟方昭博(弘前大1内)

IL-10KO マウスにおける Paneth 細胞  $\alpha$ -defensin の発現低下

○稲場勇平、蘆田知史、高後 裕(旭川医大消化器・血液腫瘍制御内科)、  
田邊裕貴、前本篤男(同 消化管再生修復医学)

顆粒球除去療法不応潰瘍性大腸炎患者の免疫学的特性に関する検討—Colectomy 前後での  
Regulatory T-cell の経時変化を中心として—

松本誉之、○福永 健、横山陽子、日下 剛、大西国夫、上小鶴孝二、戸澤勝之、  
長瀬和子(兵庫医大下部消化管)

炎症性腸疾患における collectin の血中濃度および SNPs 解析

○田中道寛、田中浩紀、矢花 崇、中原生哉、後藤 啓、有村佳昭、野村昌史、  
本谷 聡、篠村恭久、今井浩三(札幌医大1内)

炎症性腸疾患の病態における CXCL-12-CXCR4axis の関与

○仲瀬裕志、三上 栄、西尾彰功、千葉 勉(京都大消化器内科)

SAMP1/Yit 小腸炎における IL-6 trans-signaling 抑制剤の効果

○光山慶一、富安信夫、増田淳也、山崎 博、佐田通夫(久留米大消化器内科)

MIF (macrophage migration inhibitory factor) の制御による炎症性腸疾患の新しい治療法の開発

○武田宏司、大川原辰也、浅香正博(北海道大消化器内科)

HO-2C 気に基づいた腸炎治療の試み

○高木智久、内藤裕二、鈴木隆裕、鎌田和浩、半田 修、古倉 聡、市川 寛、  
吉田憲正、吉川敏一(京都府立大生体機能制御学)

マウス実験腸炎におけるミゾリビンの治療効果

○松永久幸、穂苅量太、高本俊介、渡邊知佳子、三浦総一郎(防衛医大内科)

新しい免疫抑制剤 KRP-203 による IL-10 ノックアウトマウスにおける腸炎抑制効果

○甲斐康之、中島清一、松田 宙(大阪大外科1)、  
水島恒和(りんくう総合医療センター市立泉佐野病院外科)、  
安政啓吾、根津理一郎(大阪労災病院外科)、伊藤壽記(大阪大生体機能補完医学)

骨髄に存在する腸炎惹起性 CD4+effector-memoryT 細胞の臨床的意義

○根本泰宏、金井隆典、渡辺 守（東京医歯大消化器内科）

L-Histidine によるマウス実験腸炎抑制効果の作用機序解析

○久松理一、鎌田信彦、知念 寛、小林 拓、井上 詠、岡本 晋、  
日比紀文（慶應義塾大消化器内科）、

安藤綾俊（同 消化器内科・味の素(株)医薬カンパニー医薬研究所）、

橋本雅棋 木原秀晃（味の素(株)医薬カンパニー医薬研究所）

(15) プロジェクト研究 (11:10~11:40)

「医師主導の臨床試験の実施とその評価」 責任者：高後 裕

臨床試験プロジェクトの進捗状況について

○高後 裕（旭川医大消化器・血液腫瘍制御内科）

事務局連絡

閉会挨拶

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班  
平成18年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成19年1月25日(木)

開会(9:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 主任研究者：日比紀文

II. 研究報告

(1) プロジェクト研究(9:10~9:40)

「疫学的解析」 責任者：武林 亨

難治性炎症性腸管障害の疫学像

○朝倉敬子、武林 亨、西脇祐司(慶應義塾大公衆衛生学)、  
北洞哲治(国際医療福祉大熱海病院内科)、井上 詠、日比紀文(同 消化器内科)  
平成16年度個人票データを用いた小児炎症性腸疾患の疫学像

○石毛 崇、鈴木僚子、羽鳥麗子、友政 剛、森川昭廣(群馬大小児生体防御学)、  
武林 亨(慶應義塾大公衆衛生学)

(2) プロジェクト研究(9:40~10:00)

「データベースの拡充・活用」 責任者：名川弘一

IBD データベース—解析結果4—

○名川弘一(東京大腫瘍外科)、武藤徹一郎(癌研有明病院)、  
日比紀文(慶應義塾大消化器内科)

(3) プロジェクト研究(10:00~10:40)

内科的治療法の工夫と2006年治療指針案

「潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持」 責任者：棟方昭博

潰瘍性大腸炎の難治例治療と緩解維持

○棟方昭博(弘前大1内)

潰瘍性大腸炎の診断基準—日本と欧米の比較—

○棟方昭博(弘前大1内)

小児潰瘍性大腸炎治療指針 改訂について

○余田 篤(大阪医大小児科)、友政 剛(群馬大小児生体防御学)、  
牛島高介(久留米大医療センター小児科)、内田恵一(三重大消化管小児外科学)、  
鍵本聖一(埼玉県立小児医療センター総合診療科)、清水俊明(順天堂大小児科思春期科)、  
鈴木康夫(東邦大医療センター佐倉病院内科)、高添正和(社保中央総合病院内科)、  
田尻 仁(大阪府立急性期総合医療センター小児科)、田原卓浩(たはらクリニック)、  
根津理一郎(大阪労災病院外科)、小林昭夫(東京家政学院大)

※厚生労働省健康局疾病対策課挨拶(10:15) 課長補佐：林 修一郎

(4) プロジェクト研究 (10:50~11:30)

内科的治療法の工夫と 2006 年治療指針案

「クローン病の内科治療」 責任者：飯田三雄

発症早期クローン病に対するインフリキシマブの効果：全国アンケート調査

○飯田三雄 (九州大病体機能内科)

球形吸着炭素製剤はクローン病の難治性痔瘻に有用である

○福田能啓 (兵庫医大臨床栄養)、富田寿彦、堀 和敏、應田義雄、樋田信幸、福永 健、松本譽之 (同 下部消化管)、池内浩基、山村武平 (同 2外)、田村和朗 (同 先端医学研究所家族性腫瘍部門)、高添正和 (社保中央総合病院内科)、杉田 昭 (横浜市立病院外科)

クローン病腸管狭窄の進展予防におけるトラニラストの有用性

○押谷伸英、鎌田紀子、十河光栄、山上博一、渡辺憲治、荒川哲男 (大阪市大消化器器官制御内科)

<昼食・幹事会> (11:30~13:00)

(5) プロジェクト研究 (13:00~14:30)

「外科的治療法の確立と工夫」 責任者：佐々木 巖・杉田 昭

外科プロジェクトまとめ (17 分)

○佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

○杉田 昭 (横浜市民病院外科)

<プロジェクト研究> (発表 4 分、討論 1 分)

Pouchitis 治療指針案について

○福島浩平、舟山裕士、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小林照忠、小川 仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

Crohn 病肛門病変に対する診断と治療

○二見喜太郎、東 大二郎 (福岡大筑紫病院外科)

CD 外科治療成績に関する多施設共同研究 (第 2 報)

○舟山裕士、福島浩平、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小林照忠、小川 仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、工藤克昌、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

クローン病術後経腸栄養療法の再発予防効果の検討

○杉田 昭、小金井一隆 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)

潰瘍性大腸炎、Crohn 病に合併した小腸、大腸癌の特徴と予後の検討—多施設共同研究—

○杉田 昭、小金井一隆 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)、佐々木巖 (東北大学生体調節外科)

潰瘍性大腸炎術後患者における骨粗鬆症の現状調査—第一報—

○亀岡信悟、○板橋道朗、番場嘉子、廣澤知一郎、小川真平 (東京女子医大 2 外)、飯塚文瑛、白鳥敬子 (同 消化器病センター)

Crohn 病手術例の術後妊娠、出産例の検討—アンケート調査—

○小金井一隆、杉田 昭 (横浜市民病院外科)、木村英明 (横浜市大市民総合医療センター)

<各個研究> (発表3分、討論1分)

クローン病癌合併症例の診断・治療・予後について

山村武平、○池内浩基、中野廣樹、内野 基、中村光宏 (兵庫医大2外)、  
福田能啓 (同 臨床栄養部)、富田寿彦 (同 上部消化管)、松本誉之 (同 下部消化管)

Crohn 病における悪性腫瘍の合併

○東 大二郎、二見喜太郎 (福岡大筑紫病院外科)

クローン病における腸切除後再建法が再手術率、再発形式に及ぼす影響について

伊藤壽記、○根津理一郎、甲斐康之、中島清一、水島恒和、玉川浩司  
(大阪大消化器外科、大阪労災病院外科)

潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術後長期経過例の検討

○飯合恒夫、亀山仁史、谷 達夫、丸山 聡、畠山勝義 (新潟大消化器一般外科)

潰瘍性大腸炎術後の回腸囊炎の治療について? どこまで治療するべきか

○藤井久男 (奈良医大中央内視鏡超音波部)、小山文一、向川智英、中川 正、  
内本和晃、大槻憲一、中村信治、中島祥介 (同 消化器総合外科)、  
吉川周作、稲次直樹 (健生会奈良大腸肛門病センター)

潰瘍性大腸炎周術期における免疫学的問題点の検討

楠 正人、三木誓雄、○荒木俊光、吉山繁幸、大北喜基 (三重大消化管小児外科学)

UC 患者手術後 SSI 発症抑制に対する LCAP の有効性—第一報—

亀岡信悟、○板橋道朗 (東京女子医大2外)、河野 透 (旭川医大2外)、  
楠 正人 (三重大小児外科学)、中村利夫 (浜松医大2外)、竹末芳生 (兵庫医大感染制御学)、  
池内浩基 (兵庫医大2外)、大毛宏喜 (広島大外科)

炎症性腸疾患における胆嚢結石症の臨床病理学的検討

○工藤克昌、舟山裕土、福島浩平、柴田 近、三浦 康、高橋賢一、小林照忠、  
小川 仁、上野達也、木内 誠、小山 淳、神山篤史、林 啓一、佐藤 学、  
佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

(6) プロジェクト研究 (14:30~15:00)

癌化「サーベイランス法の確立」 責任者: 松本誉之

狙撃生検を用いたサーベイランスプロジェクト報告 (5年間のまとめと今後の展望)

松本誉之、○樋田信幸 (兵庫医大下部消化管)、岩男 泰 (慶應義塾大包括先進医療センター)、  
工藤進英、大塚和朗 (昭和大横浜北部病院消化器センター)、渡邊聡明 (帝京大外科)、  
名川弘一 (東京大腫瘍外科)、五十嵐正広 (癌研有明病院内視鏡診療部)、  
佐田美和 (北里大東病院消化器内科)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、  
千葉俊美 (岩手医大1内)、渡辺憲治、押谷伸英 (大阪市大消化器器官制御内科)、  
味岡洋一 (新潟大診断病理)

UC 関連腫瘍の表面微小構造について

○工藤進英、浜谷茂治、大塚和朗 (昭和大横浜市北部病院消化器センター)、  
日比紀文 (慶應義塾大内科)、岩男 泰 (同 包括先進医療センター)、  
味岡洋一 (新潟大診断病理)、飯塚文瑛 (東京女子医大消化器病センター)、  
今村哲理 (札幌厚生病院)、小林清典、佐田美和 (北里大学東病院消化器内科)、  
田中信治 (広島大光学医療診療部)、田村 智 (高知大)、鶴田修 (久留米大)、  
樋田信幸、松本誉之 (兵庫医大下部消化管)、平田一郎 (藤田保健衛生大消化管内科)、  
渡辺憲治 (大阪市大消化器器官制御内科)、渡邊聡明 (帝京大外科)



(7) プロジェクト研究 (15:00~15:30)

癌化「基礎面から」 責任者：味岡洋一

潰瘍性大腸炎における癌化と遺伝子変異

○渡邊聡明、味岡洋一（新潟大診断病理）、名川弘一（東京大腫瘍外科）

潰瘍性大腸炎の癌化における Smad のリン酸化シグナル伝達の解析

○川股聖二、松崎恒一、内田一茂、松下光伸（関西医大消化器肝臓内科）、

日比紀文、松岡克善（慶應義塾大消化器内科）、岩男 泰（同 包括先進医療センター）

(8) 再生分科会 (15:30~16:10)

粘膜再生治療「基礎面から」 責任者：土肥多恵子

Wnt 活性化腸上皮細胞の解析

佐藤俊朗、○伊達昌一、日比紀文（慶應義塾大消化器内科）、

松崎有未、岡野栄之（同 生理学）、工藤 明（東京工業大生命理工学研究科）

腸管粘膜再生における上皮分化シグナル制御の解析

○岡本隆一、土屋輝一郎、吉岡篤史、新垣美都代、村山巖一、井上和成、金井隆典、

渡辺 守（東京医歯大消化器内科）

エピモルフィンの腸上皮細胞創傷治療に及ぼす影響

○飯塚政弘、相良志穂、堀江泰夫（秋田大1内）、渡辺純夫（順天堂大消化器内科）

炎症応答と消化管粘膜再生に関する基礎研究

○土肥多恵子（国立国際医療センター研究所）、中島 淳（横浜市大分子消化器）、

小島 至（群馬大生体調節研究所）、片岡寛章（宮崎大2病理）

(9) 再生分科会 (16:10~16:30)

粘膜再生治療「臨床面から」 責任者：今井浩三

骨髄不全ラット DSS 腸炎に対する骨髄間葉系幹細胞治療

○矢花 崇、田中道寛、田中浩紀、中原生哉、後藤 啓、有村佳昭、本谷 聡、篠村恭久、

今井浩三（札幌医大1内）

(10) プロジェクト研究 (16:30~17:00)

「エビデンスに基づく炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発と診療オプションの策定」

責任者：上野文昭

潰瘍性大腸炎診療ガイドラインの一般向け解説集について

山口直人、○吉田雅博、八重ゆかり、大郷可南子

（日本医療機能評価機構・医療技術評価総合研究医療情報サービスセンター）、

上野文昭（大船中央病院）

エビデンスに基づいた炎症性腸疾患の診療ガイドライン開発

ープロジェクト研究の成果と課題ー

○上野文昭（大船中央病院）、井上 詠（慶應義塾大消化器内科）、

小林健二（東海大総合内科）、古宮憲一（国立病院東京医療センター消化器科）、

尾藤誠司（国立病院機構本部研究課臨床疫学推進室）、中山建夫（京都大健康情報学）、

五十嵐正広（癌研有明病院内視鏡診療部）、伊藤裕章（北野病院炎症性腸疾患センター）、

杉田 昭（横浜市民病院外科）、正田良介（国立国際医療センター総合外来部）、

野口善令（名古屋第2 赤十字病院総合内科）、樋渡信夫（いわき市立総合磐城共立病院）、

福島恒男（松島病院）、松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器科）、  
松本誉之（兵庫医大下部消化管科）、棟方昭博（弘前大1内）、  
飯塚文瑛（東女医大消化器病センター）、岩男 泰（慶應義塾大包括先進医療センター）、  
岳野光洋（横浜市大内科）、松田隆秀（聖医大内科）、小林清典（北里大内科）、  
鈴木康夫（東邦大佐倉病院内科）、渡邊聡明（帝京大外科）

事務局連絡  
懇親会

平成19年1月25日（金）

III. 研究報告（続）

(11) プロジェクト研究 (9:00~09:30)

「臨床活動性指標と内視鏡指標の標準化」 責任者：松井敏幸

IBDの臨床指標と内視鏡指標の標準化 複数の指標間の比較

○松井敏幸、平井郁仁、（福岡大筑紫病院消化器科）、青柳邦彦（福岡大消化器内科）、  
鈴木康夫（東邦大佐倉病院内科）、藤井久男（奈良医大中央内視鏡超音波部）、  
押谷伸英（大阪市大消化器器官制御内科）、  
田中信治（広島大光学医療診療部）、小林清典（北里大東病院消化器内科）、  
井上 詠（慶應義塾大包括先進医療センター）

(12) プロジェクト研究 (9:30~9:50)

「疾患関連遺伝子の追究」 責任者：木内喜孝

(13) プロジェクト研究 (9:50~10:20)

「腸内細菌の関与（病態、治療への応用）」 責任者：藤山佳秀

UC患者由来 *Bacteroides vulgatus* 株の付着性に関する検討

○岡村 登、佐藤賢哉、水流育江、千田俊雄（東京医歯大保健衛生）、  
安藤 朗、藤山佳秀（滋賀医大消化器内科）

潰瘍性大腸炎再燃に *Clostridium difficile* が関与したと思われる7例の検討

○宮田充樹、佐藤真理、伊藤義紹、笠原明仁、舟木 康、飯田章人、春日井邦夫  
（愛知医大消化器内科）

(14) プロジェクト研究 (10:20~11:20)

病態追究「病因解明に向けて」 責任者：千葉 勉

難治性潰瘍性大腸炎における多剤耐性遺伝子発現に関する検討

○島谷孝司、石黒 陽、櫻庭裕丈、佐藤裕紀、川口章吾、平賀寛人、山口佐都子、  
藤田 均、山形和史、棟方昭博（弘前大1内）

腸内細菌環境の変化がエンドトキシン惹起性Tリンパ球 migration に及ぼす影響

○竹林晃一、穂刈量太、三浦総一郎（防衛医大内科）

NOD2の活性化によるTLR Signalingの制御機構とそのクローン病における役割

○渡邊智裕、千葉 勉（京都大消化器内科）

IBDの病態におけるTh17とTNF- $\alpha$

藤山佳秀、○小川敦宏、安藤 朗、辻川知之、佐々木雅也（滋賀医大消化器内科）

慢性大腸炎骨髄に潜む腸炎惹起性 CD4+T 記憶細胞

○根本泰宏、金井隆典、蒔田 新、戸塚輝治、渡辺 守（東京医歯大消化器内科）  
炎症性腸疾患の新しい診断・病態進展マーカーの探索～プロテオーム解析を用いて～

坪内博仁（鹿児島大消化器疾患・生活習慣病学、京都大探索医療センター）、

○沼田政嗣、井戸章雄、山路尚久、瀬戸山 仁（京都大探索医療センター）、

児玉眞由美、上村修司（宮崎大2内）、

藤田 浩、宇都浩文（鹿児島大消化器疾患・生活習慣病学）

Carbon monoxide (CO) を用いた実験腸炎発症抑制効果の検討

○高木智久、半田 修、古倉 聡（京都府医大生体安全医学）、

内藤裕二（同 生体機能分析医学）、奥田敏充、水島かつら、鈴木隆裕、岡山哲也、平田育大、

尾松達司、坪井寿人、吉川敏一（同 生体機能制御学）、吉田憲正（同 消化器病態制御学）、

市川 寛（同 人間環境学部）

熱ショック蛋白質に着目した顆粒球・単球吸着療法の作用機序

○福永 健、戸澤勝之、上小鶴孝二、横山陽子、日下 剛、大西国夫、長瀬和子、

松本誉之（兵庫医大下部消化管）

炎症性腸疾患における血中アミノ酸プロファイル

久松理一、岡本 晋、日比紀文（慶應義塾大消化器内科）、

安藤綾俊（同、味の素医薬カンパニー）、村松孝彦、鈴木 学（味の素医薬カンパニー）

#### (15) プロジェクト研究 (11:20～11:50)

「医師主導の臨床試験の実施とその評価」 責任者：高後 裕

臨床試験プロジェクト研究について

○高後 裕（旭川医大消化器血液腫瘍制御内科学）

ステロイド未投与活動期潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法の効果と安全性の検討

—多施設共同研究—

○蘆田知史、高後 裕（旭川医大消化器・血液腫瘍制御内科学）、棟方昭博（弘前大1内）、

野口光徳（仙台社保病院消化器科）、飯塚文瑛（東京女子医大消化器病センター）、

遠藤 豊（昭和大藤が丘病院内科）、花井洋行（浜松医大光学医療診療部）、

吉川敏一（京都府医大生体機能制御学）、松本誉之（兵庫医大下部消化管）、

青山伸郎（神戸大光学医療診療部）、松井敏幸（福岡大筑紫病院消化器科）、

光山慶一（久留米大2内）、日比紀文（慶應義塾大消化器内科）

事務局連絡

閉会挨拶

# 添 付 資 料

# 潰瘍性大腸炎

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班

## UC

### 「データベースの拡充・活用」 プロジェクト研究 2006年度報告書

---

名川 弘一	(プロジェクト研究責任者)
日比 紀文	(2002年度～ 班長)
下山 孝	(1996～2001年度 班長)
武藤 徹一郎	(1991～1995年度 班長)

---

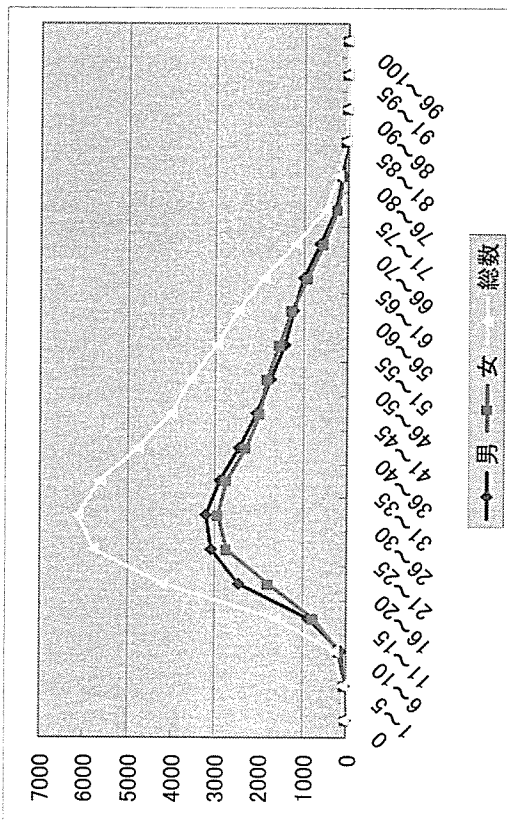
UC一県・年度別症例数

	平成10年度			平成11年度			平成12年度			総計			
	新規	更新	不明	新規	更新	不明	新規	更新	不明				
	計	計	計	計	計	計	計	計	計				
北海道	40	1327	76	1443	152	58	7	217	11	188	1848		
青森	4	376	6	386	53	4	0	57	1	5	77		
岩手	1	413	0	414	70	6	1	77	66	12	14	92	
宮城	19	0	4	23	111	4	35	150	101	3	40	144	
秋田	7	217	74	298	33	8	8	49	0	0	0	347	
山形	21	355	0	376	46	7	2	55	57	3	7	87	
福島	5	496	92	593	41	85	95	221	53	3	83	139	953
茨城	36	484	100	620	149	73	42	264	146	9	44	199	1083
栃木	1	321	133	455	6	0	7	13	0	0	0	0	468
群馬	13	494	69	576	67	7	19	33	70	0	0	70	739
埼玉	113	1569	369	2051	317	179	170	666	339	12	69	420	3137
千葉	48	926	164	1188	321	34	67	422	292	5	42	339	1899
東京	0	534	534	0	0	721	724	0	0	0	610	610	1868
神奈川	40	1239	1544	2843	281	23	410	714	241	4	305	560	4107
新潟	98	1012	19	1129	116	4	33	153	0	0	0	0	1282
富山	3	307	30	340	4	6	3	13	38	0	6	44	397
石川	16	1	2	19	70	6	0	76	48	0	2	50	145
福井	1	219	0	220	43	8	1	62	33	7	2	42	314
山梨	0	159	83	242	1	0	0	1	8	0	4	12	265
長野	1	379	97	477	52	22	13	87	42	0	18	60	624
岐阜	12	420	0	432	80	9	0	89	1	0	0	1	522
静岡	2	1224	10	1236	0	8	169	167	1	1	189	191	1594
愛知	106	2328	25	2458	396	32	26	454	383	4	41	428	3341
三重	37	505	73	615	112	20	23	155	82	0	26	108	878
滋賀	2	289	82	373	63	7	32	102	63	4	26	33	568
京都	1	0	1038	1038	1	0	175	176	0	0	1	1	1215
大阪	37	2897	112	3046	461	319	166	946	380	11	182	573	4565
兵庫	3	8	1732	1743	0	1	43	44	1	3	263	267	2054
奈良	6	268	121	395	82	40	35	157	79	0	11	90	642
和歌山	1	229	8	239	50	2	1	53	56	0	5	61	352
鳥取	1	150	21	172	32	5	2	36	22	0	0	22	233
島根	0	173	54	227	0	1	0	1	0	0	0	0	228
岡山	8	528	198	724	82	19	39	140	90	5	23	118	982
広島	27	857	6	890	152	33	1	186	196	0	0	196	1272
山口	25	524	55	604	78	22	10	110	101	2	23	128	840
徳島	1	231	64	296	52	8	0	60	57	16	5	78	434
香川	0	0	326	326	0	0	83	83	0	0	64	64	473
愛媛	7	548	36	631	98	6	11	115	78	2	15	95	801
高知	0	218	4	222	44	13	9	66	25	1	13	39	327
福岡	3	1249	452	1704	1	51	20	72	0	0	0	0	1776
佐賀	0	0	328	328	0	0	10	10	0	0	0	60	398
長崎	3	344	197	544	48	1	14	63	61	0	16	77	684
熊本	7	0	1	8	69	1	11	81	46	0	15	61	150
大分	27	350	139	516	87	4	18	109	61	0	24	85	710
宮崎	1	378	27	405	62	4	12	78	58	0	20	78	562
鹿児島	0	465	134	599	60	7	26	93	65	0	14	79	771
沖縄	9	84	3	96	66	270	15	351	44	2	6	52	499
計	792	24581	8632	34005	4112	1417	2575	8104	3730	112	2304	6146	48255

UC一初診時年齢別症例数

年齢(歳)	男	女	計
0	17	16	33
1~5	37	48	85
6~10	135	145	280
11~15	861	762	1623
16~20	2433	1771	4204
21~25	3078	2712	5790
26~30	3216	2931	6147
31~35	2894	2716	5610
36~40	2434	2298	4732
41~45	2050	1963	4013
46~50	1749	1803	3552
51~55	1407	1542	2949
56~60	1214	1266	2480
61~65	987	900	1887
66~70	640	548	1188
71~75	290	239	529
76~80	113	106	219
81~85	23	36	59
86~90	7	7	14
91~95	1	2	3
96~100	3	1	4
不明他	1471	1383	2854
合計	25060	23195	48255

## UC—初診時年齢別症例数



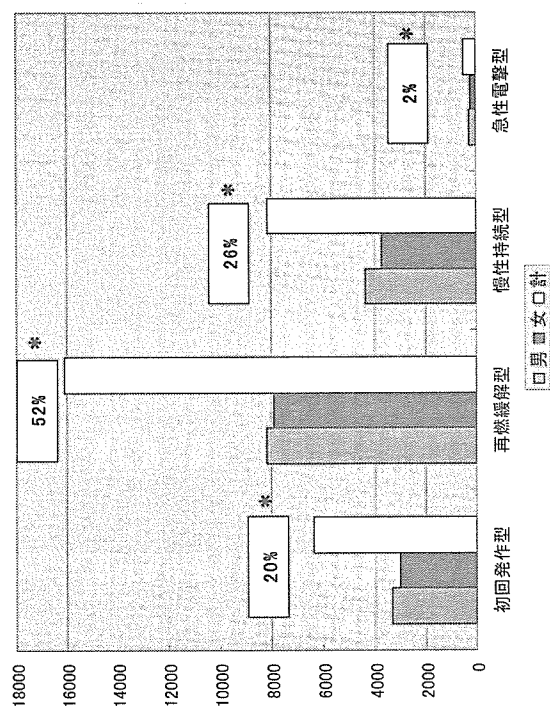
## UC—現症状による症例数

	男		女		計	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし
粘血便	8713	11449	7876	10644	16589	22093
下痢	7670	10733	6337	10622	14007	21355
腹痛	4845	16617	5370	14658	10215	31275
腹部不快感	4387	11100	4162	9975	8549	21075
易疲労	3525	11949	3418	10733	6943	22682
腹部圧痛	3101	17385	3487	15514	6588	32899
倦怠感	3354	12478	3135	11393	6489	23871
腹鳴	2461	12930	2282	11776	4743	24706
貧血	1874	14647	2604	12509	4478	27156
腹部膨満	1897	14632	1954	13237	3851	27869
体重減少	1967	17311	1585	16394	3552	33705
食欲不振	1506	13954	1570	12588	3076	26542
発熱	1470	19493	1350	18153	2820	37646
肛門痛	1165	14369	965	13214	2130	27583
肛門部病変	1040	15126	796	14011	1836	29137
顔面蒼白	917	15027	883	13713	1800	28740
便秘	451	15390	1077	13441	1528	28831
嘔気・嘔吐	511	15361	658	13884	1169	29245
関節痛	494	15710	667	14158	1161	29868
浮腫	190	15354	319	13857	509	29211
外瘻	144	15588	95	14318	239	29906
腹部腫瘍	116	15780	120	14429	236	30209
イレウス症状	105	16160	104	14804	209	30964
腹膜炎症状	93	15434	77	14087	170	29521

1 症例に複数の症状がある場合は、重複計上されている。

### UC—臨床経過による症例数

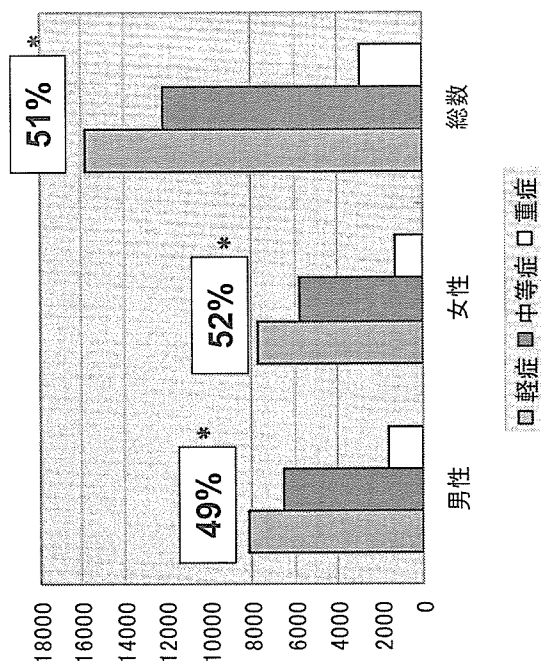
	男	女	計
初回発作型	3337	3028	6365
再燃緩解型	8185	7904	16089
慢性持続型	4377	3747	8124
急性電撃型	266	225	491
計	16165	14904	31069



\* 図中の%は各型の割合を示している。

### UC—重症度による症例数

	男	女	計
軽症	8089	7723	15812
中等症	6465	5715	12180
重症	1643	1304	2947
計	16197	14742	30939



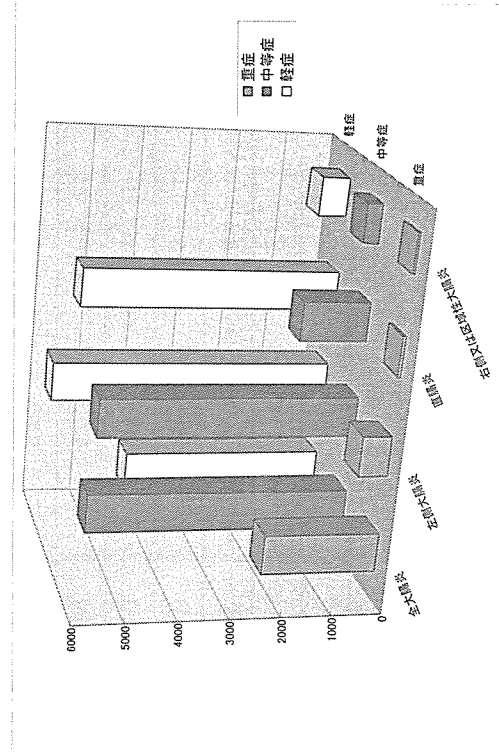
\* 図中の%は軽症例の割合を示している。



# UC一罹患範圍・重症度別症例数

	男				女			
	軽症	中等症	重症	計	軽症	中等症	重症	計
全大腸炎	2307	2937	1291	6535	1826	2374	982	5182
左側大腸炎	2968	2703	308	5979	2818	2506	277	5601
直腸炎	2499	662	28	3189	2813	684	28	3525
右側又は区域性大腸炎	315	163	16	494	266	151	17	434
計	8089	6465	1643	16197	7723	5715	1304	14742

	計(男・女)			
	軽症	中等症	重症	計
全大腸炎	4133	5311	2273	11717
左側大腸炎	5786	5209	585	11580
直腸炎	5312	1346	56	6714
右側又は区域性大腸炎	581	314	33	928
計	15812	12180	2947	30939



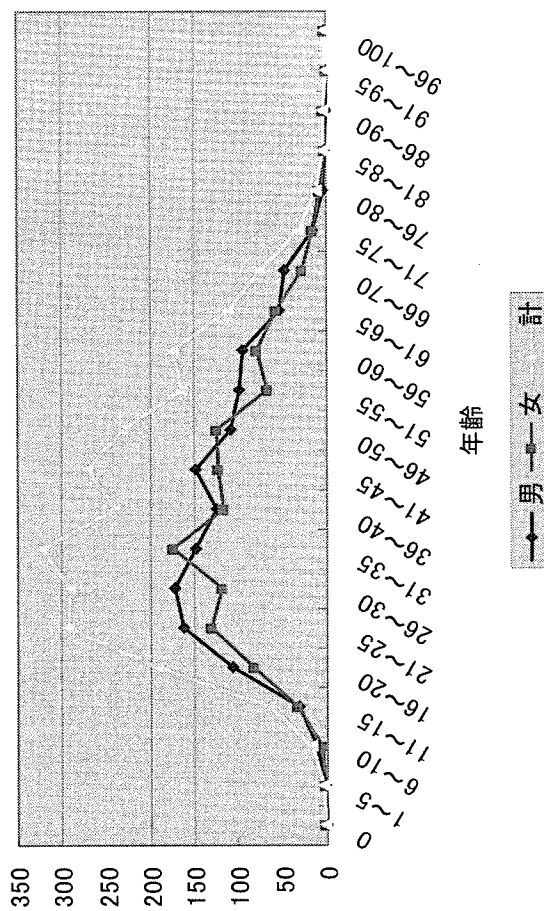
# UC一県別手術症例数

	総症例数			手術症例数		
	男	女	計	男	女	計
北海道	883	965	1848	53	65	118
青森	262	258	520	15	19	34
岩手	286	297	583	22	16	38
宮城	173	144	317	3	1	4
秋田	158	189	347	10	13	23
山形	259	239	498	14	15	29
福島	503	450	953	21	29	50
茨城	532	551	1083	25	30	55
栃木	240	228	468	1	0	1
群馬	393	346	739	25	16	41
埼玉	1654	1483	3137	89	80	169
千葉	1018	981	1899	44	31	75
東京	1023	845	1868	18	6	24
神奈川	2174	1933	4107	160	136	296
新潟	630	652	1282	58	50	108
富山	209	188	397	14	9	23
石川	85	60	145	2	0	2
福井	163	151	314	0	0	0
山梨	141	114	255	12	10	22
長野	322	302	624	17	19	36
岐阜	276	246	522	16	12	28
静岡	871	723	1594	69	51	120
愛知	1786	1555	3341	115	71	186
三重	462	416	878	25	23	48
滋賀	299	269	568	0	0	0
京都	620	595	1215	0	0	0
大阪	2284	2281	4565	162	145	307
兵庫	1053	1001	2054	82	61	143
奈良	299	343	642	24	27	51
和歌山	196	156	352	8	4	12
鳥取	121	112	233	3	5	8
島根	125	103	228	12	13	25
岡山	525	457	982	31	17	48
広島	683	589	1272	27	23	50
山口	437	403	840	26	19	45
徳島	237	197	434	12	6	18
香川	246	227	473	20	18	38
愛媛	446	355	801	22	22	44
高知	171	156	327	7	10	17
福岡	849	927	1776	65	81	146
佐賀	211	187	398	6	13	19
長崎	343	341	684	17	18	35
熊本	80	70	150	2	0	2
大分	351	359	710	18	16	34
宮崎	291	271	562	12	11	23
鹿児島	415	356	771	33	28	61
沖縄	275	224	499	16	8	24
計	25060	23195	48255	1433	1247	2680

### UC一年齡別手術症例数

年齢	男	女	計
0	0	2	2
1~5	1	2	3
6~10	12	6	18
11~15	32	33	65
16~20	107	84	191
21~25	162	130	292
26~30	173	118	291
31~35	149	174	323
36~40	124	116	240
41~45	148	123	271
46~50	108	124	232
51~55	98	67	165
56~60	95	80	175
61~65	54	57	111
66~70	47	28	75
71~75	16	15	31
76~80	4	7	11
81~85	2	2	4
86~90	0	3	3
91~95	0	0	0
96~100	1	1	2
不明他	100	75	175
計	1433	1247	2680

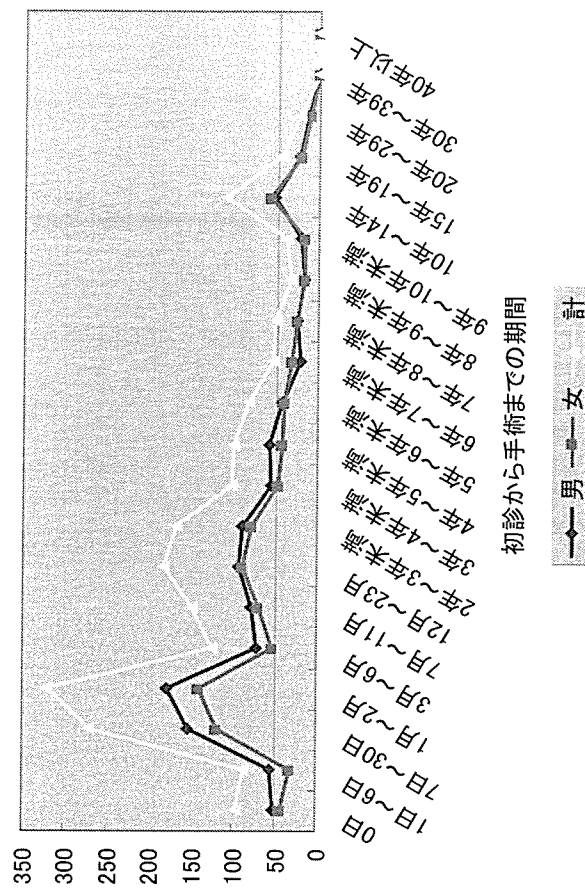
### UC一年齡別手術症例数



### UC—初診から手術までの期間別症例数

期 間	男	女	計
0日	52	43	95
1日～6日	55	33	88
7日～30日	153	119	272
1月～2月	180	140	320
3月～6月	72	53	125
7月～11月	79	70	149
12月～23月	94	89	183
2年～3年未満	90	79	169
3年～4年未満	55	48	103
4年～5年未満	57	43	100
5年～6年未満	43	41	84
6年～7年未満	21	32	53
7年～8年未満	25	26	51
8年～9年未満	17	18	35
9年～10年未満	22	17	39
10年～14年	53	57	110
15年～19年	24	21	45
20年～29年	12	11	23
30年～39年	0	1	1
40年以上	0	0	0
不明	329	306	635
計	1433	1247	2680

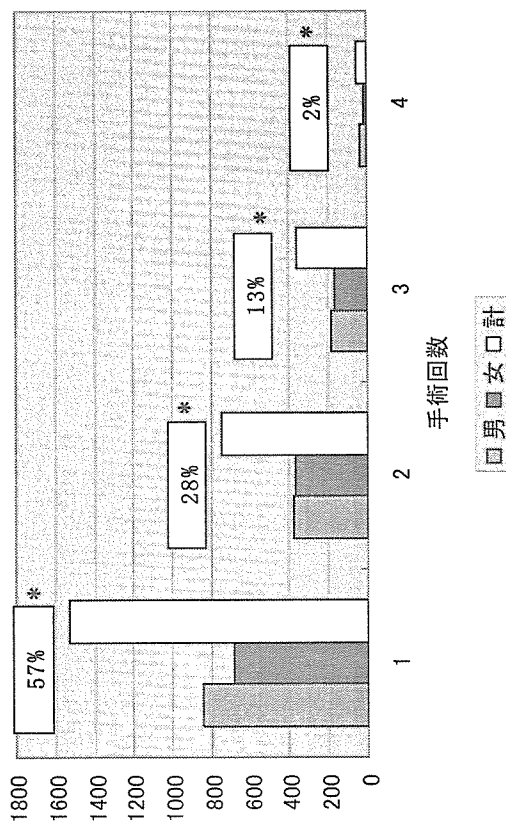
### UC—初診から手術までの期間別症例数



## UC—手術回数別症例数

手術回数	男	女	計
1	839	687	1526
2	374	368	742
3	185	171	356
4	35	21	56
計	1433	1247	2680

# Crohn病 CD



\* 図中の%は手術回数の割合を示している。